

OJIRO JHS

香美町立小代中学校 家庭学習のてびき



よりよく生きるために学力は大切です。
夢を実現するために、勉強がもっとわかるようになりたいと、どんな人でも願っているはずです。
学校での学習と家庭での学習は、どちらもとても大切なのです。

全国で行われている調査によると、家庭学習をきちんとする子どもの学力は高いことがわかっています。確かな学力を身につけるためには家庭学習が欠かせません。

子どもに確かな学力を身につけることは、学校教育の最重要課題です。

そこで、保護者向けに「小代中学校家庭のてびき」を作成しました。生徒に確かな学力を身につけさせるため、家庭と学校が協力して取り組んでいきましょう。

家庭の学びを大切に 知・徳・体が調和した 心身ともに健康な生徒を育てよう。

香美町立小代中学校

「学ぶ力」は、独習力から育ちます

学習指導要領では「生きる力」を育てることをめざしています。そのためには、人間として「自立」と「自律」が求められます。

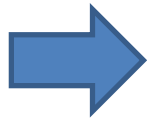
学習でも同じように、自分から学習しようとする「独習力」が求められます。「独習力」とは、ひとりぼっちで学ぶという意味ではなく、「わからないことは自分で調べる」とか「自分のために学ぼうとする意欲をもつ」という自立心と、「目標に近づくために苦しくても我慢してやり遂げる」という自律心に裏付けされた言葉です。

また、成功体験が少なく、自尊心が低い生徒は、学習に取り組ませようとしても最初からあきらめてしまう場合も少なくありません。生活習慣の定着や家庭学習の習慣を多くの目で支え、キャリア教育を充実させ、将来の展望を明確に描くことで自己肯定感を高めることが大切です。

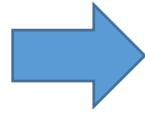
小学校入学から中学校までの9年間で、



予習・復習



授業



予習・復習

が、できる子どもを育てましょう

生活習慣の定着に取り組みましょう

チェック項目	生徒自身		保護者から見て	
1. 起こされずに一人で起床している。	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 朝食を食べる。	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 家族とあいさつをする。(おはよう おやすみなさい)	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 家の手伝いをする。	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 家族と食事をする。	はい	いいえ	はい	いいえ
6. 家族と将来のことについて会話する。(夢や進路)	はい	いいえ	はい	いいえ
7. ゲームやスマホの使い方についてルールを設けている。	はい	いいえ	はい	いいえ
8. 家庭学習を始める時間が決まっている。	はい	いいえ	はい	いいえ
9. 身の回りの整理ができています。(部屋や机の上)	はい	いいえ	はい	いいえ
10. 寝る前に明日の準備をする。	はい	いいえ	はい	いいえ

家庭学習（自分で机に向かう）で独習力を育てよう

—自分で自分の生活をコントロールするために—
学校では、この力をつけることを目標にしています。

- 1 早寝・早起き、朝ごはんを習慣にする
- 2 決まった時間に学習する
- 3 テレビや音楽を消して学習する
- 4 落ち着いた場所で学習する
- 5 机の上は整頓して学習する
- 6 宿題を含めて（15分×学年）時間学習する
- 7 テレビ、ゲーム、パソコン、ネットなどは時間を決めて利用する
- 8 明日の準備をする

学年	時間
1年生	$7 \times 15 = 105$ 分以上
2年生	$8 \times 15 = 120$ 分以上
3年生	$9 \times 15 = 135$ 分以上



中学校の学習は、予習→授業→復習という形です。

各教科宿題として、復習の内容のものや、予習の内容のものが出されますが、小学校とは違い進度も速く、内容も多くなるので、宿題だけでは不十分で、「自主学習」が必要になってきます。そこで、次のことを参考に自分で、決まった時間「机に向かう習慣」をつけてください。そうすれば、学年が上がって学習内容が難しくなっても対応することができるでしょう。

自主学習とは

自主学習とは、与えられたことをするのではなく、自分から自分のために内容を考え工夫して行う学習です。

- ① 宿題以外の学習メニューを自分で考える。（学習内容，順序，時間）
- ② 自主学習ノートを作る。
- ③ 覚えていないところや、苦手なところを見逃さないで学習する。
- ④ 何度も繰り返して学習する。
- ⑤ 絵や図グラフなどを取り入れる。
- ⑥ 毎日必ずコツコツ続ける。
- ⑦ 1週間に一度は自主学習ノートを振り返り、自分のがんばりを見つめる。

次は教科ごとの具体的な学習法です。→

家庭学習の内容

教科	家庭学習の内容およびアドバイス □予習 ○復習 ●発展
国語	<ul style="list-style-type: none"> □ 教科書を読み、あらかじめ読めない漢字をチェックしておく。 □ 語句調べ・作者や作品の背景調べ ○ 教科書を音読する。 ○ ノートや教科書を開き、その日習ったことを確認する。 ○ 自主学習—漢字学習・新出漢字調べ・語句調べ・短文作り・感想・視写・ワーク・詩、短歌、俳句作り・イメージ画 ● 関連作品を読む。
社会	<ul style="list-style-type: none"> □ 教科書を読みあらかじめ読めない漢字や、わからない語句をチェックしておく。 ○ ノートや教科書を開き、その日に習ったことを確認する。 ○ 語句や地名、人名などは必ず書きながら覚える。(漢字は正しく書けるようにする) ○ 地名は地図帳で場所を確認してから覚える。 ● 新聞記事や活字を読む習慣や、話題になっていることについて自分で考える習慣をつける。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宿題は確実にする。特に図形やグラフはていねいに書く。 ○ 計算は正確に早くできるように繰り返し練習する。 ○ わからなかった問題をもう一度する。先生に質問する。 ○ 「～だから○○となる」と自分で説明できるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノートや教科書をていねいに見直す。(学習した事柄はその日のうちに確認する) ○ 問題集や問題プリントをわかるまで解く。*同じものを何回も繰り返す方が効果的 ● 資料集や科学に関するテレビ番組、本などを見る。 ● 自然事象などに常に疑問を持ち、興味・関心を持つ。
英語	<ul style="list-style-type: none"> □ 教科書の本文を写す。新出単語の意味調べ、練習をする。わからない単語もマーク。 ○ 本文の読みの練習(最低5回)、単語のつづりの練習、問題集やプリントで練習する。 ○ 毎日 EDW を最低 1 ページする。 ● ネットやテレビを活用し、求めて学習する。

さらに詳しく知りたい人は次のページへ→

学習の仕方

国語の学習の仕方

1 持ち物

- ・教科書
- ・ノート（大学ノートを縦書きにする。同じ向きで使う。）
- ・漢字のワーク
- ・ファイル
- ・辞書（国語辞典、漢和辞典）
- ・文法のワーク、国語便覧、（指示があったとき）※3年間使う。
- ・国語のワーク（指示があったとき）

2 国語の力（すべての教科の基本）をつけるために、予習・復習を習慣化する。

- （1）文章に慣れるために、教科書は声を出してくり返し読む。
- （2）書くことを面倒がらずに、作文の力をつける。（さまざまな言葉で表現するように心がける。）
- （3）読書をする。（朝の読書を有効に活用する。雑誌・マンガ・携帯小説は避けること）
- （4）自主学习を積極的に進める。
 - ・漢字練習
 - ・語句の意味調べ
 - ・ワークをくり返し解く。など

3 学習内容と評価

【関心・意欲・態度】自分の考えを大切にし、言葉に関心をもつ。

（評価…ノート、ワーク、提出物、暗唱、忘れ物、授業態度など）

【話す・聞く】自分の考えをわかりやすく伝えたり、話をじっくり聞いたりして、思考を深める。

（評価…発表、スピーチ、聞き取りテスト、定期考査など）

【書く】目的に応じて、的確に筋道立てて文章をまとめる。

（評価…作文、感想（ノート）、授業プリント、定期考査など）

【読む】文脈中の語句の意味や、文章の展開に即した読み分けをする。描写や表現に着目して読む、文のつながりを考えて読むなど、作品の特徴を踏まえて読む。

（評価…授業プリント、定期考査、実力テストなど）

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】漢字や文法などの国語学習の基礎を身につける。

（評価…定期考査、実力テスト、漢字テスト、習字の作品など）

4 その他

- ・提出物はていねいにやり切り、提出期限を必ず守る。
- ・忘れ物をしない。

社会の学習の仕方

1 社会とは —社会は暗記教科ではありません！—

社会は覚える事柄が非常に多くあります。もちろんその知識も大切ですが、用語を暗記するだけでは社会の力はつきません。社会科で大切なのはつながりを考えることです。そのつながりを考える土台として知識が必要になります。なによりも暗記だけの勉強では面白くありません。同じ覚えるにしてもつながりがわかり、「なぜ」かを理解したほうが覚えやすいし、興味も湧いてきます。

2 社会の勉強の手順

まず教科書を読む → 自主学习ノート（一題帳等）にまとめる → 簡単な問題演習をする

地理のノートまとめのポイント

- ・必ず略地図を書いて、地名を入れる（正確なものでなくて良い）。常に地理は地図でどこかを意識しながら勉強する。
- ・地図帳は必ず横においておき見て慣れるようにし、地理的感覚を自然に養っていく。
- ・地図全体が頭に浮かぶようになれば地理克服への第一歩である。

歴史のノートまとめのポイント

- ・略年表式のノートを作成していくと時代の流れをつかみやすい。略年表を作る時、重要なことは何時代で何世紀のことかを必ずつかむ（だいたい何世紀の前半後半かを把握できているとなお良い）。
- ・各時代に起こった出来事の原因、結果を関連させて把握していく。
(歴史は流れをつかみ、出来事→原因→結果をまとめて覚えるとよい)

暗記の苦手な人必読

- ・関連づけ、意味づけをして、意識して記憶に残そうとする。
- ・多くの感覚を使って記憶に残すようにしていく。
手を使って書く。目でしっかり見る。口で音読し耳で聞く。
- ・覚えるときには一気に覚えてしまう。
覚える時はだらだらやらない。覚える速度が増すと理解力が高まる。

3 繰り返し

ノートに1回まとめただけで満足してはいけません。何度も繰り返すことによってしっかり覚えられます。定期テストの勉強なら教科書を読んで、もっとも大切な事だけ大まかに行間を大きく取ってノートに書く。問題練習をした後、もう一度教科書を読んで大切なことをそこに書き込む。

4 新聞を読む

社説やコラムを読んで、内容を理解し、要約できるようにしていく。

数学の学習の仕方

1 数学とは

数学は積み上げの教科です。例えば、かけ算ができるからわり算ができるように、これまでの学習を使って新しい学習ができるようになっていきます。逆に言えば、今の学習がわからないということは、これからの学習もわからないということです。

だから、その日に学習したことはその日のうちに理解しておきましょう。授業でわからなかったことは友だちや教師に尋ね、できるようになったことは家庭学習で確実に定着させましょう。決して理解しないままその日が終わることのないようにしてください。

「学問に王道なし」。毎日の小さな努力が、あなたの数学の力を高めてくれるでしょう。

2 学習の仕方

◎予習 「次の授業の見通しを持つ」

- ・教科書を読む（わかること、わからないことをはっきりさせる。）

◎授業 「理解する」

- ・前回の授業で何を学んだのかを明確にて、授業に臨む。
- ・説明をしっかりと聞き、ノートに丁寧に書く。
- ・板書だけでなく、大事なことをノートにメモをする。
- ・「解ければいい」「暗記すればいい」のではなく、「なぜそうなるのか」を理解する。
- ・発表やグループ活動を積極的に行い、理解を深める。
（わかること、わからないことをお互いに伝え合い、教え合う活動をする。）

◎復習 「定着させる」

- ・授業で解いた教科書の問題をもう一度やり直す。
- ・ワークで類題を解く。
- ・小テスト、単元テスト、定期テストなどを全部できるようにやり直す。

☆ワークの使い方

- ・間違えた問題、わからない問題はチェックしておく。
- ・答え合わせのとき、途中式からなど間違えた所から直し、「なぜそうなるのか」「自分はどういう間違いをしたのか」など、ポイントもかく。
- ・解答を見ても理解できないことは、友だちや先生に教えてもらう。
- ・間違えた問題はできるようになるまで、自主勉強ノートなどに何度もやり直す。
- ・

3 ノートの使い方

- ・文字は大きく丁寧に書く。（分数は2行使う。）
- ・線や図は定規を使う。
- ・途中の計算、図など問題を解いた過程を残しておく。

理科の学習の仕方

1 授業の前に

- ・前回の授業で習ったことをノートを見て復習しておきます。

2 授業では

- ・聞くこと、考えること、書くこと、実験・観察すること等を判断して取り組むことが大切です。
(聞くべき時にノートをとっていたりすると、理解に支障をきたします。)
- ・発表を進んですることは、同じ間違いをしにくくなります。
- ・他の人の発表を聞くことは、理解を深めることができます。
- ・理解できなかったことはその場で聞きましょう。
(後回しにすると、理解できない量が倍増します。)

3 復習に力を注ごう

- ・今日学習したところは、必ず見直し、確認をしよう。
- ・今日学習したところのワークをすると、理解している所とそうでない所がはっきりします。
- ・理解できていない所は、もう一度ノートを見よう。
- ・先生や友だちに聞こう。
- ・新しく理科用語として出てきた所は、用語が言えたり、書けたりできるように練習します。
(自主学习ノートをつくって、まとめたり、練習したりしている人もいる。)

4 繰り返し学習は力をつけます。

- ・繰り返し復習をすることは、学習内容を忘れにくくし、定着しやすくなります。
- ・漢字や英語の単語のように、覚えなければならないことは、時期をのがさずに覚えることが大切です。
(理科で使う記号など)

5 必ず守りたいこと

- ・忘れ物をしないこと。
- ・提出物は必ず提出し、期限に間に合うこと。

英語の学習の仕方

1 英語と日本語

英語は言葉です。したがってこの点においては日本語と同じです。しかし、次の点は日本語と大きく違います。

- ① 発音…英語には日本語にない発音がたくさんあります。日ごろ使わないような音、発音しにくい音がありますが、1つ1つ覚えなければなりません。
- ② 単語…英語では1語1語その「意味」「読み」「つづり」とを覚えなければなりません。これらの1語1語を単語といい a,b,c…の26文字の組み合わせからできています。
- ③ 語順…英語で言う場合、日本語どおりに単語が並べられていません。「英語独特のならべ方」があります。したがって、日本語を英語に置き換えただけでは正しい英文とはいえません。

2 4つの力

次に英語の授業を通して4つの力を育てていきたいと思います。

- ① 聞く力…英語を聞いてその内容がわかること
- ② 読む力…英単語や英文が読め、その内容がわかること
- ③ 話す力…英語で自分の考えが話せ、英語の間に英語で答えることができること
- ④ 書く力…英語を聞いてそれを書き取ったり、自分の考えていることを英語で表現したりできること

わかる → 慣れる → 使う

3原則を守ることが大切です。

3 英語の評価

通知票にある4つの観点は次のとおりです

- ① コミュニケーションへの関心・意欲・態度…英語の学習に対して積極的に取り組んだかを評価します。積極的に発言しようとする。積極的に取り組む。忘れ物をしない。提出物の期限を守ってきちんと出す。という活動で判断します。
- ② 表現…自ら積極的に表現しようとする。作文などを書こうとする。相手の質問に対して答えようとする。その様子で判断します。
- ③ 理解…たずねられたことがどれだけ理解できたか。書かれている内容の理解度で判断します。
- ④ 言語や文化についての知識・理解…その国の文化や習慣、英語のルールをどれだけ知っているか、理解できたかで、判断します。

4 英語の学習の仕方

- ① 毎日勉強すること…少しずつでも、教科書を読んだり、EDWに自主学習をしたりして、日課の一部にしていきましょう。
- ② 間違いを恐れずにとすること…恥ずかしがってはいけません。間違いながらどんどん学習します。
- ③ 何回も繰り返してまねること…先生の発音やCDのまねをしましょう。特に日本語にない発音や文の上げ下げの調子、アクセント、などに注意して聞き、聞こえたように言うことが大切です。

- いつも声を出して読むこと
- 単語や文などは声を出しながら書いて覚えること…目と耳、口と手を使い覚えます。
- 暗唱、暗写

5 具体的な学習の仕方

● 予習

- ① 次に習うところの本文を読み、ノートに写す。
- ② 新出単語や重要語句の意味や働きなどを調べる。(辞書の活用)
- ③ わかりにくかったところにしるしをつける。

● 授業

- ① 予習ができていない場合はその日のうちに提出する。
- ② 集中して聞く、予習でわからなかったことを重点的に聞く。
- ③ 大きな声ではっきりと読んだり話したりする。
- ④ 間違いを恐れずに発表する。友達の間違いを笑わない。

● 復習 (家庭学習)

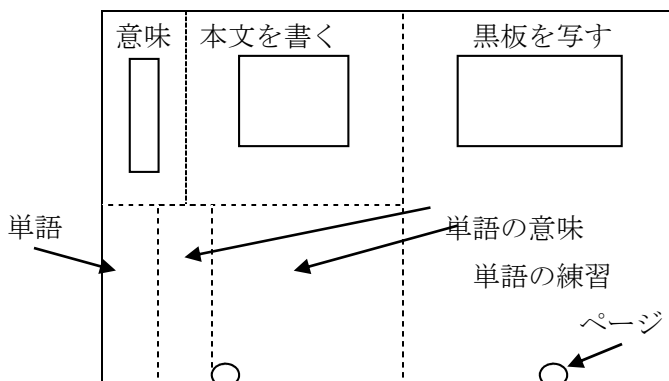
- ① その日習ったところを何度も読む。
- ② その日の重要事項を確認し、わかったところ、わからないところに印をつけ、わからなかったところは次の日に先生に聞く。
- ③ 大切な文、新出単語、重要語句は書けるようになるまで、何度も声をだして読み練習する。
- ④ 問題集をやってみて、理解を深める。

● ノートの使い方

ノートは授業用と、家庭学習用と2冊用意します。絵のないものを使い、1年の最初は13段、2学期頃より15段を使います。2年生より大学ノート使います。

【参考】

① 授業用ノート



②家庭学習用ノート

自分の工夫で